

令和4年度 第1回小牧市在宅医療・介護連携推進協議会

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告

令和5年2月9日（木）

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

事業項目	取組み内容	報告委員	ページ
(ア) 地域の医療・介護の資源の把握	(1) 歯科医の訪問歯科診療の実施状況	佐々木委員	2～4
	(2) 薬剤師の訪問薬剤管理指導の実施状況	石田委員	5
	(3) 各介護保険サービス事業所についての情報共有	中内、岡田委員	6～7
	(4) 医療・介護資源の情報収集・管理	磯村、伊藤委員	8
(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討	(1) 医療・介護の関係団体との連携	磯村、岡田委員	9～10
(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築	(1) 医療機関と訪問看護・ケアマネジャーの連携	磯村、大野委員	11
	(2) 副科受診の支援	磯村委員	12
	(3) 摂食嚥下サポートチームの活動支援	磯村委員	13
(エ) 医療・介護関係者の情報共有の支援	(1) 病院とケアマネジャーの連携	田中、小松委員	14～15
	(2) ICTの運用（機能強化）	伊藤、磯村委員	16～17
(オ) 在宅医療・介護に関する相談支援	(1) 在宅医療・介護連携サポートセンターの運営	磯村委員	18
	(2) 在宅医療・介護連携サポートセンターと地域包括支援センターの連携	磯村、岡田委員	19
	(3) アウトリーチ型の相談体制の充実	田中、磯村、岡田委員	20～21
(カ) 医療・介護関係者の研修	(1) 多職種連携研修の実施	磯村、板谷、大野、岡田委員	22～25
	(2) 在宅医療・介護の連携研修、勉強会等の実施	田中、河内、磯村委員	26～27
(キ) 地域住民への普及啓発	(1) 市民向け講演会の実施	伊藤委員	28
	(2) 在宅医療・介護に関する普及啓発	磯村委員	28
	(3) サロン等における在宅医療・介護に関する取り組み	佐々木、河内委員	29
	(4) わた史ノートの普及・啓発	伊藤、岡田委員	30～31
(※) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携	(1) サポートセンター連絡会議	磯村委員	32
	(2) 広域連携の推進	増井委員	33

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

(1) 歯科医の訪問歯科診療の実施状況

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
佐々木委員	<p>1.訪問歯科診療の対応表</p> <p>【進捗状況と今後の予定】 ・こまきつながるくん連絡帳へ歯科診療所の機能情報を提出する。訪問歯科診療は介護支援専門員からの依頼が多いので、そちらへ向けて情報の提供を行っていく。</p> <p>【実施に向けての課題】 ・訪問歯科診療では、歯科診療所によって機能が異なり、依頼されても治療が行えないという事が生じる可能性がある。</p> <p>2.対応表と各医院のホームページ、歯科医師会ホームページの医院情報については、チェック、確認し順次修正</p> <p>【進捗状況と今後の予定】 ・歯科医師会のホームページは地域連携の推進と、かかりつけ歯科へのアクセスを意識した情報提供を中心に作成した。ホームページの訪問内容は随時変更しているので、周知をしていく必要がある。</p> <p>【実施に向けての課題】 ・ホームページの検索が分かりにくい部分があるので、可能な範囲で修正していく予定である。</p>	<p>1.訪問歯科診療の対応表</p> <p>【進捗状況と今後の予定】 ・「こまきつながるくん連絡帳」への歯科診療所の機能情報を掲載した。訪問歯科診療の内容・訪問距離については各歯科医院での温度差があり、介護支援専門員への情報提供に関しては見合わせている状況である。</p> <p>【実施に向けての課題】 ・小牧市歯科医師会で診療内容や訪問距離についての詳細な聴き取りができればよいが、コロナ禍でもあり出来ていない状況である。訪問歯科難民が生じないように適切な情報提供ができる体制を構築したいが、個々の会員の考え方が異なっているために統一出来ない。また、他市町からの商業的な訪問歯科医療の参入があり、無視はできなくなっている現状がある。</p> <p>2.対応表と各医院のホームページ、歯科医師会ホームページの医院情報については、チェック、確認し順次修正</p> <p>【進捗状況と今後の予定】 ・歯科医師会のHP上で、糖尿病医歯薬連携の関連マップを追加するなど、地域包括ケアを意識した情報提供をさらに進めていく予定である。</p> <p>【実施に向けての課題】 ・HPの検索の分かりにくい部分の修正は、契約上の問題で変更は難しいので、別の方法を検討中である。</p>

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

(1) 歯科医の訪問歯科診療の実施状況

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
佐々木委員	<p>3. 衛生士会との連携やフリーの歯科衛生士の発掘、専門的な口腔ケアができ、施設職員や家族に指導できるような人材の養成に取り組む。人材養成は難しいが、衛生士会と定期的に会議をもち、情報交換、研修会、情報の共有、個々のレベルアップ、連携を行う。</p> <p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問歯科診療に関して、歯科医師には様々な障壁がある。小牧市歯科医師会で対応できるようになった歯科医師に対して、ある程度の仕事の依頼があるように、他職種や自治体へ情報の提供を行う。訪問診療を実施している歯科医院に勤務する歯科衛生士を対象とする講習会を開催する。 ・需給の問題で、歯科衛生士を歯科医院で雇用することが難しい場合が多く、さらに訪問歯科医療に興味を示す者を雇用する事は困難である。歯科衛生士会との連携や、フリーランスの歯科衛生士の発掘といった方法を模索していたが、歯科衛生士は単独で医療・介護の請求を行う事ができないので、現時点では実施できない。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科医師会の会員全てが訪問歯科を行える訳ではない。様々な障壁を乗り越えて対応できるようになっても、ある程度の仕事がなければ立ち消えてしまうので、訪問歯科診療の依頼があるようなシステムを構築する必要がある。 ・歯科衛生士に関しては、雇用出来るようになれば良いが現時点では難しい。歯科医師自身が訪問衛生管理に関して理解していないケースもあるので、その点も含めて改善していく必要がある。 	<p>3. 歯科衛生士会との連携やフリーの歯科衛生士の発掘、専門的な口腔衛生管理ができ、施設職員や家族に指導できるような人材の養成に取り組む。人材養成は難しいが、歯科衛生士会と定期的に会議をもち、情報交換、研修会、情報の共有化、個々のレベルアップ、連携を行う。</p> <p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2023年1月9日(月)に小牧市歯科医師会会員の西田が尾張北部の歯科衛生士会に対して、訪問歯科診療における専門的な口腔衛生管理のあり方についての研修会を行った。コロナのためにオンラインとなったが、この後も実地を含んだ研修会の依頼もあり歯科医師会としてもサポートしていく予定である。 ・歯科衛生士の雇用問題に関しては継続しており、これは小牧市だけではなく全国的な問題となっている。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科は診療所での処置が基本である為に、訪問歯科の依頼が少なくても多くても問題が生じる状況である。地域包括ケアの中では、近在の「かかりつけ歯科」が対応する事が望ましいと思われるが、実際はそうならない。 ・歯科医師・歯科衛生士共に総合病院などの勤務経験がある者が少ないため、全身疾患がある患者への訪問歯科診療に関しては対応が難しいケースが多くなっている。施設への訪問歯科診療は今後も増加することが予想されるが、在宅に関しては様々な問題を解決しないと増加の方向にはならないと思われる。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

(1) 歯科医の訪問歯科診療の実施状況

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
佐々木委員	<p>4. 介護施設職員への口腔ケア等、研修機会の希望の有無の確認</p> <p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧摂食嚥下サポート（ごっくんサポート）チームに小牧市歯科医師会の会員が参加している。施設への出前講座や研修会、勉強会資料のDVD化についての報告を受けており、歯科医師会としても全面的にサポートしている。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナにより多人数での対面開催は難しいため、オンライン、YouTubeやDVDでの情報公開など、小牧歯科医師会でも模索している。そのような場の設定を自治体の方で、前向きに検討してほしい。 <p>5. 在宅で暮らす高齢者で歯科治療や口腔ケアが必要な方を顕在化するための方法の検討</p> <p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護認定調査委員及び介護支援専門員を対象とした、歯科疾患とオーラルフレイルについての講習会を実施した。（70名程度参加） <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため検討が難しい状況にある。歯科疾患とオーラルフレイルについての講習会は依頼いただければ実施する。市職員を対象に実施したいとも考える。 	<p>4. 介護施設職員への口腔ケア等、研修機会の希望の有無の確認</p> <p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧摂食嚥下サポート（ごっくんサポート）チームに小牧市歯科医師会会員が参加しており、チームでYouTubeからの情報発信や研修会を行っている旨の報告を受けている。今後も歯科医師会が全面的にサポートして行く。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧市歯科医師会でもYouTubeなどの情報発信を行っていく準備は出来ているが、どのような内容を優先するのかという点に関しては会員の考え方がそれぞれ異なる為に、その擦り合わせが必要である。 <p>5. 在宅で暮らす高齢者で歯科治療や口腔ケアが必要な方を顕在化するための方法の検討</p> <p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護支援専門員に対して、口腔機能管理、口腔衛生管理と口腔ケアの必要性を周知徹底するために、地域ケア会議等には可能な限り参加して、その重要性について発表をしていく。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お昼の時間帯に開催されることが多く、診療時間を削って参加すると経営的に負担となるため、歯科の参加が少ない。会員の負担が少なくなるような時間帯での開催を希望したい。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

(2) 薬剤師の訪問薬剤管理指導の実施状況

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
石田委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会員の在宅対応実績件数は少しずつではあるが上昇している。 ・今後の在宅対応の需要増に対応するため、在宅対応先薬局を探す一次受けの窓口を作る。 <p>「小牧市薬剤師会 分業部会」を一次受けの窓口とし、依頼があった場合は患者住所などの諸情報から対応可能薬局を選定し、薬剤師会から依頼をかける形式とする。</p> <p>～小牧市薬剤師会 分業部会～ 平日 10:00～15:00 TEL 0568-75-2071 mail komakiyaku@ksf.biglobe.ne.jp</p> <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係者への一時受け窓口の存在の周知。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時受け窓口の状況 薬剤師会から薬局への在宅依頼は誘導になる恐れがある。そのため、在宅対応薬局のリストの情報を提供している。 ・予定 在宅対応薬局リストの更新 薬局薬剤師の地域活動増加による顔が見える関係の構築 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅対応リストの更新方法（内容含め） ・薬局薬剤師の外部活動の推進

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

(3) 各介護保険サービス事業所についての情報共有

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
中内委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の介護展は 1/31～3/4 の日程で市役所本庁舎 1 階ロビーにてパネル展示として開催。限られたスペースを活用しサービスの周知を行っているが、初めての取組みということもあり改善点などは今後検討したい。コロナ禍の中で開催できる最大限の取組みではあると思いますが、市民の皆様の声などをお聞かせ頂き、今後に繋げていきたいと思う。 ・部会主催の研修においてリモートでの開催が多いものの、通信環境の整備も整ってきている事業所も多く、これまでに比べスムーズな開催ができているものと実感している。これは事務局側の柔軟な対応と一人でも多くの方が研修に参加できるよう様々な手配をしてくれていることも大きく、我々幹事会側も所属事業所への働きかけを再度見直す必要性も痛感している。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護展の在り方について、単なる事業所の PR ではなく再度この機会に「主役は誰か」「事業所の役割」を考え直すべきだと思う。介護の入口に立った市民の方々が「そう言えば」と思い出してもらえるような安心を日頃から感じて頂けるように、年に一回の大々的な開催ではなく、今回のような恒常的かつ日常的な取組みを工夫する時期でもあると思います。その為にも日頃から事業所同士の連携を図る仕組み作りと意識改革が課題だと思う。 ・コロナ禍で各事業所の優先事項は、サービスの継続であり、各種研修への参加も二極化している面もあるが、様々な要因で参加できないことも事実である。事業所間の連携の重要性を再度共有すると共に、参加しやすい、参加したいと思うような魅力的な研修や行事の企画などが、我々事業所連絡会の課題であると考えます。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の介護展は 6/19 (日) にふれあいセンターにて約 3 年ぶりの会場を使用した対面式で行い、212 名の来場がありました。来場者が一定以上にならないように混雑時には入場制限を行うなど、感染対策を万全にした上で多くの市民の皆様にご来場いただきました。事前告知として、広報こまきや中日新聞の掲載に加え、名鉄や JR の鉄道主要駅や市内金融機関、スーパーマーケットなどへのポスター掲示を実施しました。当日のハローワークのお仕事出張相談、マイナンバーカードの申請コーナーの設置など、久しぶりの対面での開催を意識した取組みを事務局、市介護保険課、そして事業所連絡会の三者間が協働することで、コロナ禍の中にも関わらず大きな混乱もなく無事に終えることができました。 ・次年度の介護展は 6/25 (日) 小牧市公民館にて開催を予定しておりますが、今年度の実施を踏まえ、コロナ禍の中でも安心して参加できる企画を検討しています。例えば毎年行われていた会場内での飲食や骨密度測定などの見合わせ、開催時間の短縮やソーシャルディスタンスの保持など、絶えず会場内が密にならないような声掛けや誘導案内を検討します。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の昨今各事業所においては、状況によっては職員の確保ができず、事業所の通常業務に支障が生じる所もあると思います。そういった厳しい状況下で「介護展」や「研修会」等のプラスアルファの活動まで手が回らない、という切実な意見もおありかと思えます。感染者に対して行動制限の伴う現在、感染拡大を防止する観点からも不特定多数の人流が生じる場に敢えて参画を強く依頼することは、各事業所の運営方針に反する部分も多分にあることと予想されますが、昨今の研修等への参加状況を鑑みても、参加、不参加は二極化している傾向が顕著ではあります。 ・再度サービス事業所連絡会の主旨を明かにし、「ウィズコロナ」を前提とした参画の意向を確認し、事業所間の情報共有やスタッフのスキルアップ、人材の交流など加入することで得られるメリットを明示していく活動も必要だと思います。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

(3) 各介護保険サービス事業所についての情報共有

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
岡田委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、事例検討会は7グループに分かれて開催されている。今年度もコロナ感染予防の見地から中止や延期となったため、 <ul style="list-style-type: none"> 1 回開催：5グループ 2 回開催：1グループ 3 回開催：1グループ ・という結果であった。予定していた回数を実施できなかったが、ケアマネジャーと包括の情報共有や連携強化の機会としては、定着してきている。 ・また、上記同様の理由により、圏域内におけるサービス事業所交流会等の開催は、見送られている。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度はコロナ感染状況を見極めた上での開催となったが、開催の可否については、「まん延防止重点措置」の施行が一つの指標となると考える。 ・開催をする際は、次年度も同様に、感染防止対策を実施した上で、継続していきたいと考えている。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は感染予防に留意しながら、6グループに分かれ事例検討会を開催した。 <ul style="list-style-type: none"> 2 回開催：2グループ 3 回開催：2グループ 4 回開催：2グループ ・昨年度を上回る成果となり、ケアマネジャーと包括の情報共有、協働実践の機会となっている。 ・権利擁護部会の取り組みとして、各担当包括の社会福祉士が居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護支援事業所、グループホーム等へ出向いて、「高齢者虐待防止研修」を実施した。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍となって、丸3年が経過した今年度は、「with コロナ」としての取り組みを試みたといえる。 ・感染状況によっては、参加を見送る事業所も中にはあったが、調整を図りながら柔軟に実施していくことで今後も継続していきたいと考えている。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(ア) 地域の医療・介護の資源の把握

(4) 医療・介護資源の情報収集・管理

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
磯村委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規開業クリニックの情報収集をおこなっている。 ・県医師会依頼の実態調査を実施した。 ・「医療とケアマネ連携一覧」更新のためのアンケート調査結果(医師会・薬剤師会)を3月「こまきつながるくん連絡帳」に掲載の為、まとめたデータを市へ情報提供した。歯科医師会から情報提供されたアンケート調査結果をまとめてデータを市へ提供し、こまきつながるくん連絡帳へ掲載を依頼。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「医療とケアマネ連携一覧」をこまきつながるくん連絡帳に掲載、今後の活用状況を確認していくことが必要かと思われる。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新規開業クリニックの情報収集とこまきつながるくん連絡帳「医療とケアマネ連携一覧」へ掲載を依頼した。 ・訪問看護ステーション一覧の情報更新を行うとともに、こまきつながるくん連絡帳「医療とケアマネ連携一覧」へ掲載を依頼した。 ・医師会会員へ県医師会依頼「実態調査」実施。 ・医師会会員へ在宅医療に関する調査を実施し最新の情報収集を行った。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「医療とケアマネ連携一覧」の活用状況の確認と更新時期の方法等検討が必要と思われる。
伊藤委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスワクチン接種の関係で医療機関の登録数が増加した。新規登録等の問合せに随時対応している。 ・「医療とケアマネ連携一覧」を更新し、こまきつながるくん連絡帳へ掲載する予定である。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これを機会として、こまきつながるくん連絡帳を通して医療機関と情報連携が取りやすい環境となったため、必要があれば利用していただきたい。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年3月末に「医療とケアマネ連携一覧」を更新し、こまきつながるくん連絡帳へ掲載。適宜、活用していただいている。 <p>＜医療とケアマネ連携一覧掲載内容＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師会一覧 ・歯科医師会一覧 ・保険薬局一覧 ・居宅介護支援事業所一覧 ・訪問看護ステーション一覧 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定期的に情報を更新し、必要な情報を提供することができるようにすることと、内容の充実。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

(1) 医療・介護の関係団体との連携

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポートセンターとして、地域包括支援センター管理者会議で相談対応など情報共有を行い医療・介護の連携を強化している。今後も継続するとともに、医療介護の連携のためにネットワークができるとよい。 ・多職種連携カンファレンスに参加している。今後も医療の視点で提案できるよう参加していく予定。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポートセンターは地域ケア会議に参加できていない。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・在宅医療・介護連携サポートセンターも地域包括ケア推進担当管理者会議で情報共有し医療介護の連携を強化している。連携のためのネットワークができるとよい。 ・地域包括支援センター権利擁護推進部会には、わた史ノートやACPについて検討時に参加して情報共有している。また多職種連携研修会で身寄りのない人への支援をテーマに開催した。今後も多職種で検討していけるよう研修会を継続していく。 ・多職種連携カンファレンスに参加している。医療の視点で提案できるよう打合せにも参加していく。 ・専門職とケアマネ意見交換会に参加した。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域ケア会議へ参加できていない。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(イ) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討

(1) 医療・介護の関係団体との連携

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
岡田委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・包括の部会で、身寄りのない方の課題整理を実施。 ・地域包括ケア推進課・小牧市民病院患者支援センター・包括の三者で、身寄りのない方への対応や医療連携についての話し合いを実施。今後も、この取り組みは、継続していく予定である。 ・包括から個別地域ケア会議を開催した事例を事例検討会で提供した。個別地域ケア会議が、どのような流れで開催となったか、課題整理の内容にも触れ、地域の住民の参加が及ぼす効果やその後の支援についても、話し合う機会を持てた。 ・今年度の多職種カンファレンスは、5月に予定していた説明会はコロナ感染拡大防止のため中止したが、自立支援のカンファレンスに関しては予定通り、3回開催ができた。今年度、1月に予定していた重度化防止は、残念ながらまん延防止等重点措置施行の為、次年度に順延となった。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身寄りのない方への対応課題は抽出できているが、現状、具体的な対応策は、個別に対応を検討している状況にあり、医療と介護の円滑な連携となる一定の指針の作成に向けての話し合いを継続していく必要がある。 ・多職種カンファレンスの専門職の参加は広がりつつあるが、肝心のケアマネジャーの参加が極端に減少傾向にある。今後、ケアマネジャーの参加を如何に促していけるかが課題となる。 ・次年度に繰り越された重度化防止のカンファレンスに関しては、開催の目的やその意義等を含め、更に周知を促すことも重要な課題と考える。再度、発信していく必要と、プロジェクトメンバーに居宅介護支援事業所の参加が必須であるとする。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の「ケアマネジメント支援会議」では、「生活困窮」「消費者被害」「障害サービス併用」「支援が必要な家族の対応」「医療依存度が高い方への支援」「権利擁護」と6つのテーマについて開催した。それぞれのテーマに沿って、福祉総務課、小牧市消費生活センター、障がい福祉課、春日井保健所、小牧市在宅医療・介護連携サポートセンター、尾張北部権利擁護支援センターにアドバイザーとして参加頂き、具体的なアドバイスや社会資源の活用について、情報を共有することができた。また、ケアマネジメント支援会議を通して、医療、地域、各支援事業所や専門職との関わり方について、ケアマネジャーが気づきを得られる機会となった。 ・多職種カンファレンスは、昨年度開催が順延となった重度化防止を5/19に開催し、自立支援を3回、1/19に予定している重度化防止を含め、5回開催となる。事例に沿った専門職者への働きかけが功を奏し、専門職参加率が高く、昨年度の課題であったケアマネジャーの参加率も徐々に上がってきている。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネジメント支援会議におけるテーマに沿ったアドバイザーの起用が好評であったことから、次年度も継続して実施する。前半・後半でグループを入れ替え制としたため、討議に関する時間が足りないという意見もあったことから、次年度は時間配分について再考し、十分な討議の場を設けたいと考えている。 ・多職種カンファレンスの課題としては、ケアマネジャーの参加率を上げていく働きかけを継続し、多職種で支える視点を持つことで、ケアマネジメントの質の向上を目指していきたい。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築

(1) 医療機関と訪問看護・ケアマネジャーの連携

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
磯村委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズにあった「医療・介護勉強会」を開催することによりお互いの理解を深め連携を強化している。 ・訪問看護・ケアマネジャーとの連携強化にむけて医療に特化した勉強会を開催した。ニーズにあっているか医療介護関係者と報告調整していく。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、対面オンライン両方開催をすすめていく必要がある。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ニーズにあった「医療・介護勉強会」を開催することによりお互いの理解を深め連携を強化している。 ・訪問看護・ケアマネジャーとの連携強化に向けて医療に特化した勉強会を開催した。ニーズにあっているか医療介護関係者と調整していく。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での開催は対面、オンライン両方法ですすすめているがネット環境か、音声など課題があった。
大野委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護とケアマネの連携については重要事項の一つだと考えているが、コロナ禍で業務そのものが煩雑になり、R3年度は交流事業も行えなかった。なかなか集まる機会も作れないため、十分な連携が取れるような仕掛けが必要。 ・次年度はオンラインによる交流会や事例検討会を試験的にを行い、今までに培ってきた顔が見れる関係を更に深めていく。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの混乱でお互いの状況が見えにくくなっている。現在の状況を双方が知るとともに、課題点についても共有し、解決に向けて検討する場が必要となっており、忙しい、煩雑だ、というだけでなく、しっかりと立ち止まって検討することが必要だと考えている。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度もコロナ禍で動きが取れなかったが、今年度も日常の業務に追われ交流事業は行えなかった。 ・訪問看護部会が行った「地域共生社会の実現に向けて～ユニバーサル・ホスピスマインド～」研修には、内容が医療的な要素が多いと思われ、参加が少なかった。 ・コロナ禍で介護、看護の現場は煩雑になっているが、このような時だからこそ、改めてオンラインによる交流会や事例検討会が必要だと考える。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年、新しい訪問看護事業所も増えており、コロナ禍といえど相互の交流の機会が必要となっている。コロナの状況を見極め、相互に現状を知り、現在の課題を共有できる機会を開催したい。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築

(2) 副科受診の支援

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
磯村委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 副科紹介ツールの活用は継続している。今年度、主治医から0件、ケアマネジャーから2件相談に対応した。 副科訪問について問い合わせあり。 今後も継続していく。紹介ツールの書式については当面現在の紙ベースでFAXでのやり取りを行う。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍での訪問診療依頼。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 副科紹介ツールの継続。今年度、主治医からの依頼4件、ケアマネジャーから0件、あり対応した。 副科訪問について問い合わせ2件あり。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で、副科訪問が難しい状況。すべての依頼を受けることができない。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(ウ) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築

(3) 摂食嚥下サポートチームの活動支援

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧ごっくんサポートチームは定期的に打ち合わせと会議を開催している。「摂食嚥下評価スコア 2021」(小牧ごっくんサポート小牧版)は一部修正し動画収録にて第2回「医療介護勉強会」で医療介護関係者に対面とオンラインで開催し周知をした。今後専門職が施設事業所に出張勉強会をおこなっていく予定。 ・専門職による動画資料を作成中。今年度完成予定。今後運用方法を策定して施設事業所等に貸し出し摂食嚥下についての知識を深めたい。 ・「摂食嚥下評価スコア 2021 小牧版」が評価基準になるよう広めていくために方法等検討していく。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・出張勉強会の対象施設の選定、講師役となる人員の確保が課題である。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧在宅・摂食嚥下サポートチーム(小牧ごっくんサポート)は定期的に会議(オンライン)や会議前打合せを開催している。 ・「摂食嚥下評価スコア 2021」(小牧ごっくんサポート小牧版)は動画収録した。小牧の評価基準になるよう広めていく。 ・専門職による録画収録資料を作成した。 ・今後運用していくために、チーム員在籍施設事業所へ YouTube 発信して現在修正箇所等検討中であり、今後、小牧市内の事業所、施設へ発信していき、摂食嚥下についての知識を深めたい。 ・今年度第1回オレンジカフェにてテーマ：オーラルフレイル予防と認知症を歯科衛生士が講師で対応した。サポートセンターも同行した。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小牧在宅摂食嚥下評価スコアの活用方等取り決めをする必要がある。 ・出張勉強会の講師人員確保が課題であるが、依頼状況を確認しながら調整しておこなう。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(工) 医療・介護関係者の情報共有の支援

(1) 病院とケアマネジャーの連携

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
田中委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29、30年度に実施した「医療・介護の連携に関する実態調査」について調査中。医療と介護の連携シートの活用状況、つながるくんの活用やかかりつけ医との連携の状況についての内容となっている。 調査実施後は本協議会で報告し、ホームページにも掲載する予定。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ケアマネジャーが医療機関と連携している状況を把握した後に、更に周知と活用を広げる取り組みが必要。 市民病院や第一病院での医療と介護の連携シートの活用状況をケアマネジャーにも周知し、実際にどのように活かされているか理解する機会を設定していく。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和3年度に「医療・介護の連携に関する実態調査」を実施。前回行った平成30年度の調査内容と比較すると、「主治医に担当ケアマネであることを知らせている」「主治医に情報をもらっている」のポイントが上がっており、主治医との連携について意識が上がっていることがわかる。 また、主治医への連絡方法についても「メール」が大幅に上がっているとともに、つながるくんへの登録人数も増えており、ICT活用が進んでいることがわかる。 「医療と介護の連携シート」の活用については、活用しているポイントに差はないが、「医療機関に送っていない」ポイントが下がっている。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在、国立長寿医療研究センターの主導で、行政、医療機関、地域包括支援センター、ケアマネジャーなどが参加し、入退院調整支援事業が行われている。その事業の目的の一つに、入退院連携マニュアルの策定と連携体制の構築があり、令和5年度では小牧市でどのような体制を構築するのか検討を進める必要がある。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(工) 医療・介護関係者の情報共有の支援

(1) 病院とケアマネジャーの連携

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
小松委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2020年度、小牧市内の事業所から238件が「医療と介護の連携シート」で連携されていた。そのうち小牧市のシートを使用されていない事業所は9件であった。2021年度（2月末現在）は198件である。（そのうち22件は別シート） ・昨年度に引き続き、コロナ禍でご家族との面会が制限されているため、介護関係者の方も患者への面会の頻度は減っていると思う。退院調整に必要な面会や会議は、制限していないのでそこで患者の情報を得ていただきたい。 ・希望する2親等までの親族を対象にオンライン面会を行っている。 ・WEB会議については開始予定である。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症が収束しない中、介護の開催や研修をどのように企画したらいいか、検討が必要。 ・入院患者の高齢化に伴い、入院によりADLや認知機能が低下、そして医療依存度が高まっている。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2021年 「医療と介護の連携シート」で連携した件数 211件 その他の用紙の利用 47件 小牧市外 338件 ・2022年（4月～12月） 「医療と介護の連携シート」で連携した件数 254件 その他の用紙の利用 29件 小牧市外 254件 ・家族の面会については、昨年度と同様である。 ・WEB会議は、17件実施した。 主に退院前カンファレンスで在宅医が参加する場合がほとんどである。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・院外研修は、オンラインで行われているが、感染対策を行い、対面での研修も実施している。自院以外の参加者については、オンラインが主である。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(工) 医療・介護関係者の情報共有の支援

(2) ICTの運用（機能強化）

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
伊藤委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活用促進に向けた電話及び出張による説明：30か所程度 ・登録施設数：市内262か所、市外28か所 ・登録患者数：204名 <p>※令和4年2月末時点</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子@連絡帳の広域活用を目指し、尾張北部（春日井市、岩倉市、小牧市）、尾張東部、尾張中部に加え、西三河北部、西三河南部東、東三河北部、東三河南部医療圏の市町と連携協定を締結し、計48市町村となった。 ・令和3年3月1日より駐車場シェアシステム「こまきハートフルパーキング」の利用を開始した。（R4/2月末時点、29者、計60台の提供有） <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ワクチン接種に協力いただいた医療機関との連携をこまきつながるくん連絡帳にて実施したため、医療機関の登録数が伸びている。 ・登録患者数も伸びており、連携ツールとして活用が進んでいると認識している。 ・引き続き登録施設数を増やすため、関係機関の協力をお願いしたい。 ・「こまきハートフルパーキング」の駐車場登録数を伸ばすため、周知したがるように伸びない。そのため、訪問する際に必要な駐車場があれば、教えていただきたい。市から個別に依頼をさせていただく。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電子@連絡帳「こまきつながるくん連絡帳」の登録施設数は市内284か所、市外28か所。登録患者数は272名。（令和4年12月末時点） ・ワクチン接種の連絡等に利用するプロジェクトへ参加する目的で医科医療機関の登録が増加したほか、デイサービス・訪問看護ステーションなどの介護事業所の新規開業によって増加している。また、昨年11月ごろから電子介護認定審査会を試験的に開始するなど、医療・介護連携以外の場面でも活用が検討されている。 ・駐車場シェアシステム「こまきハートフルパーキング」事業における駐車場提供者は、令和4年12月末時点で31者71台。令和4年4～12月末までの利用件数は34件。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場シェアシステム「こまきハートフルパーキング」について利用予約が集中する駐車場がある一方、1回も使用されていない駐車場も多い。現在は、在宅医療機関や地域包括支援センター等からの要望を受け駐車場の提供依頼を行っているが、提供者と駐車場の地権者が異なる場合（賃貸借契約が絡んでいる場合）などは、駐車場提供の同意を得にくいことがある。 また、こまきつながるくん連絡帳内に「こまきハートフルパーキング」プロジェクトを作成し利用法を掲載するほか、駐車場が提供されるたびに記事を更新して利用促進を図ったものの、大きく利用が伸びていないことから、利用促進に向けた周知と必要とする場所への駐車場の確保が課題。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(工) 医療・介護関係者の情報共有の支援

(2) ICTの運用（機能強化）

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療介護勉強会や研修会開催の周知、会議の開催案内資料報告書の発信をしている。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 未登録の方への周知方法は従来のFAX等である。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療介護勉強会や研修会開催の周知、会議開催案内資料や報告書をこまきつながるくん連絡帳にて発信している。 研修会打合せについてもメッセージ機能にて連絡調整を行っている。 訪問看護ステーション更新のため情報収集を行い、「医療とケアマネ連携一覧」に掲載を依頼した。 新規開業医院には、訪問して情報収集させていただくとともに、こまきつながるくん連絡帳の登録と「医療ケアマネ連携一覧」への掲載についてお願いした。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療機関もこまきつながるくん連絡帳への登録数が伸びたが、コロナワクチン以外での連携ツール活用はあまり伸びていない。 未登録の先生方への承知は従来のFAX等である。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(オ) 在宅医療・介護に関する相談支援

(1) 在宅医療・介護連携サポートセンターの運営

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポートセンター会議を隔月開催し関係機関に活動報告を行い事業内容の承認をえている。 ・令和2年度は45件の相談や問い合わせをうけた。令和3年4月から令和3年2月まで61件対応した。 ・サポートセンターとして今後とも関係事業所や市民に対し、医療介護連携の相談窓口として普及啓発を継続する。 ・医療介護関係者の顔のみえる関係ができつつあり、サポートセンターを介さず対応ができていると考えられるが、今後より一層対応できるネットワークができると良い。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍での在宅医療介護連携。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポートセンター会議を隔月開催し各関係機関に事業計画、事業報告を行っている。また活動報告を行い事業内容の承認をえている。 ・令和3年度は67件相談や問い合わせを受けた。コロナ禍での在宅療養者家族の相談や施設管理者の施設内コロナ感染者の訪問診療の対応などの相談もあった。 ・今後とも関係機関や市民からの相談に対し、サポートセンターとして情報提供ができるよう、各医療介護情報を更新して対応していく。 ・医療介護関係者の顔のみえる関係ができつつあるが、コロナ禍で困難なことが多かった。 <p>【実施に向けての課題】</p> <p>コロナ禍の在宅医療介護連携。</p>

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(オ) 在宅医療・介護に関する相談支援

(2) 在宅医療・介護連携サポートセンターと地域包括支援センターの連携

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> サポートセンター会議は、医療介護勉強会の企画や検討調整できる連携の場となっている。また地域包括支援センター管理者会議に参加しており、相談対応について等相互に連携ができています。 地域包括支援センターと協働して「医療とケアマネ連携一覧」について医師会情報を更新し薬剤師会も情報提供し「こまきつながるくん連絡帳」に掲載した。歯科医師会も今年度掲載予定。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域包括支援センターと協働してできることについて具体的な協議ができていない。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 各月で開催しているサポートセンター会議は、医療介護勉強会や研修会開催の企画検討調整できる連携の場となっている。また地域包括ケア推進担当者会議に参加しており、相談対応について等連携ができています。 地域包括支援センター部会に参加しており、抽出した課題の事例提供、グループワーク研修会を開催した。今後も継続していく。 地域包括支援センターや地域包括ケア推進課と協働して情報更新し「こまきつながるくん連絡帳」医師会・歯科医師会・薬剤師会・訪問看護ステーションの情報を掲載した。今後も情報の更新は定期的に行っていく必要があり、更新のための情報提供の協力をお願いしていく予定。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍の研修方法。
岡田委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> サポートセンター会議や管理者会でセンターの活動状況や包括の活動状況についての情報共有は実施できている。 「医療とケアマネの連携一覧」や「居宅介護支援事業所連携一覧」「訪問歯科診療連携一覧」「保険薬局一覧」等をこまきつながるくん連絡帳上にR2年3月末にアップ頂いたものを活用している。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> こまきつながるくん連絡帳上にアップされている連携一覧の内容についての情報が更新されていくような仕組みが必要と考える。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年同様、サポートセンター会議・管理者会・包括の部会等が毎月開催されることで、双方向での活動状況の情報共有ができています。 また、「医療とケアマネ連携一覧」等の情報についても随時更新して頂いている。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携サポートセンターとは、十分な連携が図れており、現在、特に課題は見当たらない。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(オ) 在宅医療・介護に関する相談支援

(3) アウトリーチ型の相談体制の充実

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
田中委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で市内81あるサロンが、2月末現在で9割ほど実施している。サロン開催の折は、支え合い推進員や地域包括支援センターの職員が現場を訪れ、地域住民から相談を受ける地域の身近な相談窓口としての体制は定着してきている。 ・地域包括支援センターが行っている介護予防把握事業では実際には予防活動への取り組みにはつながることも少ないが、フレイルの危険性がある方への訪問や声掛け活動が相談のきっかけになっている。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・例えば引きこもりや困窮など、今支援を必要とする人たちの掘り起こしができておらず、相談支援が十分に届いていない。相談に来れない人、支援につながらない人への働きかけが必要。 ・今年度、福祉総務課が行った引きこもりの方を対象としたアンケート調査などをきっかけとしてアウトリーチできる相談体制をつくる必要がある。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、市内にふれあい・いきいきサロンは80ヶ所開設されている。今年度はコロナ禍でも稼働しているところが多く、地域の居場所、出向く見守りの場となっている。 ・サロンに支え合い推進員や地域包括支援センターが出向くことによって、地域の身近な相談窓口になっている。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度課題に挙げた引きこもりや生活困窮者など、支援を必要とする人たちに、必要な情報が届いていなかったり、相談に来れない人、支援に繋がらない人への働きかけができなかった。 ・重層的支援体制整備事業が進められる中でアウトリーチ体制も整えていくことになるため、現段階から相談体制の仕組みを検討し、地域でのニーズ発見の目を増やすことが必要だと思われる。
磯村委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療介護関係機関に送付した「小牧市の在宅医療・介護」冊子はサポートセンターの周知として市民の相談に結び付いている。今後もツールを通じて市民に医療介護相談ができることを周知できると良い。 ・広報こまきに「知ってる？在宅医療サポートセンター」偶数月15日号に掲載中。今後も継続してサポートセンターの周知を図る。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サポートセンターが医療介護連携の相談窓口として広く対応できるように啓発の発信方法を検討するとともに、更新した医療介護情報収集が必要である。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広報こまき「知ってる？在宅医療」の掲載は中止となった。 ・「小牧市の在宅医療・介護」冊子の配布はサポートセンターの周知と市民からの相談ツールになっている。 ・在宅療養について、サポートセンター相談窓口の周知やアウトリーチ型相談体制の啓発方法を検討する。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍にて在宅療養（かかりつけ医を持ちましょう）について出前講座ができていない。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(オ) 在宅医療・介護に関する相談支援

(3) アウトリーチ型の相談体制の充実

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
岡田委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、各包括が輪番で掲載の担当を実施。引き続き、次年度も市民に向けての広報を予定している。 ・現役世代へのPRの一環として、商業施設での相談会等を実施予定であったが、不特定多数に対する広報活動となるため、コロナ感染症拡大防止の観点から今年度は見送る形を取らざるを得なかった。 ・認知症等あんしん補償事業については、登録者の現状確認を完了し、普及活動としては、警察・薬局・医療機関・コンビニ（セブン・ファミマ）郵便局・新聞販売店・ガソリンスタンド・タクシー会社・農協・金融機関・商業施設・市民センター地区会館への訪問を各圏域で実施。 ・今年度のあんしん補償事業で保険適応の対象となった事案は1件発生している。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ前は現役世代への広報を市民まつりや介護展などで、家族層に向けて行え、一定の成果を得てきていたが、アフターコロナに向けての新しい広報ツールを検討する必要がある。 ・認知症高齢者等あんしん補償事業の対象者が増加してきており、今後、益々増加していく対象者への対応を検討する必要がある。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の出張相談については、以下の相談会を実施した。 ローソン移動販売出張相談・野口の郷出張相談 小針の郷出張相談・西部コミュニティセンター出張相談 ヴィレッジハウス山北出張相談・ドン・キホーテ UNY 桃花台出張相談 ナフコ二重堀店出張相談、大垣共立銀行出張相談、 ハロー薬局出張相談・公民館出張相談 ・12/6より、新たな相談会として「イオン小牧店出張相談会」を開始。毎月一回、集客の多い日（火曜特売・20日、30日5%オフ）に開催していく。客層は若い世代も多いため、高齢者だけでなく多世代へのアプローチも検討していく。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトリーチ型の相談体制は、今後も感染予防に努めながら定期的に実施していく予定。 ・with コロナとして商業施設等新たな場所での相談会の実施や地域包括支援センターへの啓発活動を展開していく必要がある。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(カ) 医療・介護関係者の研修

(1) 多職種連携研修の実施

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第1回「医療・介護勉強会」 テーマ：死を今一度考える 第1部 参加者 オンライン24名・対面12名 第2部 オンライン参加のみ 29名 ・第2回「医療・介護勉強会」 テーマ：摂食嚥下評価スコア2021 小牧版 参加者 オンライン14名・対面11名 ・第1回「在宅医療・介護連携研修会」 テーマ：コロナ禍の在宅医療・介護連携について 参加者 オンライン24名・対面4名 ※オンラインでグループワーク <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で開催できていなかった「在宅医療・介護連携研修会」多職種連携研修会についてはネット環境を整え開催した。今後もハイブリットでスムーズに開催できると良い。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療介護関係者に研修会を開催した。 第1回多職種連携研修会（対面とオンライン） テーマ：身寄りのない人への支援（現状と課題）52名 ※グループワーク 身寄りのない人への支援については課題が多い。今後も継続して研修会を開催し各関係者で課題については円滑な情報共有を行い連携が深まるとよい。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療介護関係者が顔のみ見える環境で話し合うことが連携を深める事につながる。コロナ禍で対面オンラインの開催方法は今後も続くと思われる。スムーズに開催できるよう調整が必要である。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(カ) 医療・介護関係者の研修

(1) 多職種連携研修の実施

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
板谷委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部会として定例化は難しいが、随時オンラインで行い部員との情報交換や共有を図るようにしている。 ・研修会については、事業者連絡会内の部会として昨年8月に多職種に向けて新型コロナウイルス感染症について講師を招き研修会をオンラインにて開催した。(参加者36名) <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時における連携をどのように進めていくことが良いのかが大きな課題。 ・まだまだコロナの状況が落ちつかないため、オンラインでの研修会を考えていかなければならないと考える。多職種の方々が一堂に会して交流をしながらの研修が難しい。オンラインでの気軽さはあるが、以前のような集合研修と比べると参加人数が少ない。開催時間やテーマなど工夫が必要である。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度の訪問看護部会も2～3ヶ月に1度オンライン会議を行っており、情報伝達や意見交換が行えている。 ・また、日々の問題点や疑問に対しては、部会グループ SNS を活用して相談できる体制ができています。 ・小牧市介護保険サービス事業者連絡会 訪問看護部会として昨年7月27日に「地域共生社会の実現に向けて～ユニバーサル・ホスピスマインド～」についての全体研修会を開催した。オンラインの開催であったが、12事業所29名の方々に参加いただいた。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今回の研修会はオンラインであったが、一般社団法人エンドオブライフ・ケア協会の方々の協力もあり、グループワークを取り入れた工夫などあり、聴講だけでなく有意義な研修会となった。今後も多職種にも興味を持っていただける魅力ある研修づくりを行っていく必要がある。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(カ) 医療・介護関係者の研修

(1) 多職種連携研修の実施

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
大野委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2/17 に多職種連携研修をオンラインで開催。小牧市の特徴として多職種連携研修で医療・介護関係機関の顔が見える関係づくりを培ってきたと言えるため、今後も定期的に共同で研修を行っていききたい。 ・市主催の多職種カンファレンス、事業者交流会については、ケアマネジャーの参加率がよくないため、その必要性や利点を伝え、積極的に参加してもらいたい。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携研修のオンライン開催では、グループごとの話し合いがしにくい、主催する側もオンラインに慣れ、魅力ある研修づくりを行う必要がある。 ・多職種カンファレンス、事業者交流会の基本的な目的を伝え、ケアマネジャーが出席にメリットを感じるようにする。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/21 に多職種連携研修を対面・オンラインのハイブリッド方式で開催。コロナ禍で ICT を使って改めて顔が見える関係づくりを始められたのはとても有意義なことだと考える。 ・特に今回は、現在の地域課題である「身寄りのない人の支援」にテーマを設定することができた。地域での医療・介護連携に係る課題を取り上げ、検討していくことが大切だと思われる。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多職種連携研修では事例検討が主となるが、その話し合いの中に出てきた発言を取り上げたり、地域ケア会議として継続検討したり、この研修を地域課題の解決へ結びつけるきっかけとして活用できるのではないかな。 ・今回のテーマでも様々なアイデアがあり、これで終わってしまったのはもったいない。 ・介護サービス事業所では、令和5年度中にBCPを作成することが義務化されており、小牧スタイルの医療・介護連携を市内事業所のBCPに盛り込むなど、市内で連携がとれる計画策定が望ましい。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(カ) 医療・介護関係者の研修

(1) 多職種連携研修の実施

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
岡田委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 五者連絡会による調整で、各研修が計画されたがまん延防止等重点措置の施行により、中止や順延となる結果となった。 五者連絡会が小牧市内の研修を調整役としての役割を果たしてきたが、今後は、計画段階において可視化できるツールである「こまきつながるくん連絡帳」を活用していくことで、円滑な調整を図っていく。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対面による会議体としての利点と時間等の制約なく実施できるICT活用の利点と比較し、次年度は、その評価と改善について検討する必要があると考える。 ICTを活用する一方で、今後は、五者連絡会に代わって、小牧市の包括ケアを推進していくための核となるネットワーク（協議体）の構築が必須と考える。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会は、多少のスケジュール調整や変更は生じたが予定された計画は、実施することができた。 対面開催の場合は、密にならないように人数制限を設け、健康チェックや手指消毒・定期的な換気等の感染予防対策に努めた。 対面式とWEB併用のハイブリッド方式の場合は、音声の不具合や参加者のネット環境の不具合など、WEB開催におけるネット環境の問題や技術的な課題が生じた。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ感染予防対策を行いながら、今後も継続して実施していく。 WEB開催は、WEB環境の整備や主催者側の習熟度も検討課題と考えられる。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(カ) 医療・介護関係者の研修

(2) 在宅医療・介護の連携研修、勉強会等の実施

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
田中委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度は24名の研修企画委員が3回の研修を企画・実施。その中にACPをテーマにしたものを開催し、人生会議におけるケアマネジャーの役割や、わた史ノートの活用の仕方について学習することができた。 今後も医療連携をテーマの研修は継続していく方向で考えており、訪問看護や薬剤師など関係職種との合同で開催することも検討していきたい。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 主任介護支援専門員更新研修の受講資格要件に年間4回の3時間研修を受講しなければならないが、現在のところオンライン研修が認められていない。そのため、企画する研修も対面式、3時間研修を基本としている。しかし、感染状況によっては開催できなくなることも度々あり、研修目的が十分果たされないこともある。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近年、終末期に係る高齢者が多くなったこともあり、令和4年度は「グリーフケア」に関する研修を実施。ケアマネジャーに終末期～死後のケアマネジメント・家族支援について学習した。 今のところコロナの影響で現場が煩雑であり、訪問看護等の他職種との勉強会が進んでいない。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昨年度に引き続き、医療・介護相互の連携研修の必要性は大きく感じる。現段階で相互の連携にどのような課題があるのかを見出し、課題に応じた取り組みを計画したい。
河内委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 研修会・勉強会はコロナの影響ですべて中止。 多職種カンファレンス、地域ケア会議への参加は、個人レベルで行っている状況でリハビリ連絡会としてどう参加していくのか、安定して出席できるようなシステムを構築していきたい。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域ケア会議等の時間設定。 職場、セラピストの意識・理解。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> R4年度はリハビリテーション連絡会としてリハ職向けの勉強会を2回実施。本年度内にもう1回開催予定。今後、症例発表を中心にリハ職の知識・技術向上を目的に行っていく。さらに、多職種の参加を募り、連携を図っていく。 保健所依頼の「難病友の会」への勉強会を施行。今後も継続して行っていく。 多職種カンファレンスは、小牧市・各施設の協力もあり、参加可能となり、誰かしらセラピストが参加できる状況ができている。今後も継続して参加していく。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者が限られており、セラピストの意識改革が必要。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(カ) 医療・介護関係者の研修

(2) 在宅医療・介護の連携研修、勉強会等の実施

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
磯村委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療介護関係者への勉強会は2回オンラインと対面で開催した。 ・医療介護関係者への研修会は1回オンラインと対面で開催した。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で今後も対面とオンライン同時開催が求められると考えられる。医療介護の連携が前進する内容や手法を検討する必要がある。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療介護関係者への勉強会開催（対面とオンライン） <ul style="list-style-type: none"> 第1回医療介護勉強会～みんなで支える在宅療養～45名 テーマ：認知症について 第2回医療介護勉強会～みんなで支える在宅療養～39名 テーマ：ACPの取り組みについて <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で今後も対面とオンラインの同時開催が必要になる。ネット環境や音声の課題があるので改善できるよう調整が必要である。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(キ) 地域住民への普及啓発

(1) 市民向け講演会の実施

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
伊藤委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会の開催を見送った。 令和4年度も広報こまきに隔月で在宅医療・介護の記事を掲載し啓発を図る。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度は、開催する方向で検討していくが、講演会開催が難しい状態であれば、動画掲載やDVD配布などの方法も検討したい。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会の開催を見送った。また、医療・介護の業務が感染対策等で逼迫する中、動画やDVD作成のために頻回に集まることは難しく、動画掲載やDVD配布の検討までには至らなかった。 上記取り組みはできなかったが、広報こまき11月1日号で「生き生き人生プロジェクト」監修のもと、ACPの特集記事を掲載し、啓発を行った。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の流行状況を注視しつつ、再開のタイミングを図っていく。

(2) 在宅医療・介護に関する普及啓発

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
磯村委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報こまきに「知ってる？在宅医療」と題して啓発コーナーで在宅医療の紹介、薬剤師、歯科医師の紹介やサポートセンターの周知を実施している。 「小牧市の在宅医療・介護」冊子を医療介護関係者に郵送、訪問にて啓発した結果、市民のからの電話相談に繋がっている。今後市民向けの出張講座も関係機関と協働して開催していきたい。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で出向いての啓発については困難なことが多い。ツールを活用するなど啓発方法を検討する必要がある。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 広報こまきの「知ってる？在宅医療」コーナーは、8月から諸事情により中止となった。 「小牧市の在宅医療・介護」冊子を医療介護関係機関に訪問したおり説明の上配布している。 配布した冊子は市民からの相談に繋がっている。今後市民向け出張講座も関係機関と協働して開催していきたい。 新任民生委員・児童委員研修会にてわた史ノートと在宅医療・介護について説明して協力をお願いした。 介護展「在宅医療連携」に出展して在宅療養等啓発していく。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> コロナ禍で出向いて啓発は困難なことが多い。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(キ) 地域住民への普及啓発

(3) サロン等における在宅医療・介護に関する取り組み

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」、「実施に向けての課題」等
佐々木委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため出向くことができていない。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響によるが、講座の開催は不明。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響で出向できずにいる。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の状況が改善し次第、講座の開催をしたい。
河内委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こまき山体操は2回/月開催。 ・自宅で行う体操・運動のビデオ制作に関しては、小牧市社会福祉協議会と連携し、6回分を制作した。 ・こまき山体操振り返り勉強会の開催予定。(団体のリーダー、ボランティアに対して) ・ふれあい・いきいきサロン連絡会への参加予定。(サロンでできる簡単な体操等指導) <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サロンのリーダーやボランティアの方々との連携。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こまき山体操は、2回/月開催。来年度も継続して行っていく。 ・こまき山体操振り返り勉強会をサロンのリーダー、ボランティアの方々を中心に施行。今年度は、三月にもう一度行う予定。今後も要請があれば行っていく。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社協からの依頼で動いており、もう少しサロンのリーダーやボランティアの方々との連携を図っていきたい。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(キ) 地域住民への普及啓発

(4) わた史ノートの普及・啓発

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
伊藤委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わた史ノートの出前講座は、R3年度は2回。 「生き生き人生プロジェクト」 ・学校、教育関係 学校を対象に ACP やわた史ノートについて、アンケートを実施予定。 ・介護関係 ACP に関する勉強会や講演会を医療・介護関係者へ実施予定。 ・市民向け関係 啓発ポスターの作成を検討し、構成案が概ね固まったところである。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生き生き人生プロジェクト」にて引き続き検討を行いながら、普及啓発を続ける。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わた史ノートの出前講座 令和4年12月末時点：4回 「生き生き人生プロジェクト」 ・学校・教育関係 令和4年6月に小・中学校全25校を対象に ACP やわた史ノートについてアンケート（命の大切さを学ぶ授業（いのちの授業））を実施した。「講師の派遣があれば活用して授業を行いたいですか」という問いについては半数以上が「はい」と回答された。今後はプロジェクト内や学校教育側と協議していく。 ・介護関係 令和4年11月21日に医療・介護勉強会（市民病院の ACP の取り組みについて学ぶ）を実施した。 ・市民向け関係 啓発ポスターを作成し、社会福祉協議会、各地域包括支援センター、医療機関、各市民センター三師会等に配付。また、広報こまき11月1日号の ACP の特集記事の内容検討を行い、その中でわた史ノートの啓発を行った。 ・わた史ノートの改訂 令和6年度に改訂を行う予定で、令和5年度夏ごろまでに生き生き人生プロジェクトの中で変更案を検討していく。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いのちの授業については、「時間が取れない」、「どのように教えて良いかわからない」などの意見がある中、「講師の派遣があれば活用したい」という意見も多くあったため、内容・実施方法について、学校教育側と相談していく必要がある。 ・わた史ノート普及に向け、その活用方法については正しく周知する必要がある。そのためにも、今後は、活用を支援する専門職に向けた研修や勉強会などについても実施する必要がある。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(キ) 地域住民への普及啓発

(4) わた史ノートの普及・啓発

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
岡田委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「アドバンス・ケア・プランニング：人生会議」人生会議におけるケアマネジジャーの役割について考える」をテーマに（2 包括が企画プロジェクトメンバーとして参加）研修会を11月に開催した。参加者には、「わた史ノート」を体験して頂くなど、ケアマネジメントにおける一つのツールとしての活用を提唱した。 ・コロナ禍の影響でサロン・老人会の開催が中止となったため、今年度の包括全体の実績として延べ回数は2回という状況である。（これ以外に予定している講座もあるが、コロナの影響により実施日未定。） <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生き生き人生プロジェクト」の今後の取り組みとリンクしていけるよう、包括がプロジェクトメンバーとしての参加を継続していく必要があると考える。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わた史ノートの改訂」のため、令和5年8月頃を目途に構成を検討。令和6年改訂版を目指していく予定をしており、権利擁護部会で、「わた史ノート啓発講話」アンケートを目下作成している。 ・「生き生き人生プロジェクト」で話し合われた「体験型講習会」の講師候補として、権利擁護部会メンバーが挙がっている。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「生き生き人生プロジェクト」と権利擁護部会が連携して「わた史ノート」の改訂や「体験型講習会」の実施について検討していく必要がある。 <p>※「わた史ノート」のどこが書きづらいかなどの検証について、権利擁護部会がこれまでの講話の中で気づいたことを中心に整理していく。</p>

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(※) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

(1) サポートセンター連絡会議

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
磯村委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾張北部医療圏と尾張中部医療圏サポートセンター、保健所にて6回(1/2か月)在宅医療・介護情報交換会を開催した。 ・今後も定期的に開催して在宅医療・介護連携推進事業の各市町の取り組みについて情報共有を行っていく予定。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で対面開催ができないため詳細の情報共有が難しい。また、保健所は新型コロナウイルス感染対応にて参加できていない。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・尾張北部医療圏と尾張中部医療圏サポートセンター(5事業所)と近隣保健所(3保健所)にて在宅医療・介護情報交換会を6回開催した。 ・今年度は新たに、広域連携会(8事業所)を3回開催した。オンライン開催。 ・今後も定期的に開催し在宅医療介護連携推進事業について各市町の取り組みを情報共有する予定。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策を行い対面で開催してきたが、今後感染状況によりオンライン開催も対応する。

小牧市在宅医療・介護連携推進事業進捗状況報告シート

(※) 在宅医療・介護連携に関する関係市区町村の連携

(2) 広域連携の推進

報告者	前回報告の概要 (令和4年2月時点の「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」)	令和5年1月時点の 「進捗状況と今後の予定」「実施に向けての課題」等
増井委員	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療・介護連携サポートセンターが実施している在宅医療・介護情報交換会に参加し、情報共有を行った。 尾張北部医療圏在宅医療・介護情報交換会については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、県医療計画課の通知に基づき、中止した。 中止に代わり、圏域内市町の当事業に関する状況調査を実施し、回答を還元した。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 圏域での情報交換会について、コロナ禍における開催方法や内容等について検討していく必要がある。 	<p>【進捗状況と今後の予定】</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療サポートセンターが実施している在宅医療・介護情報交換会に参加し、情報共有を行った。 尾張北部圏域在宅医療・介護情報交換会については、県医療計画課からの「新型コロナウイルス感染症対策に係る保健所体制強化」の通知に基づき中止した。 <p>【実施に向けての課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症による影響や地域の課題を見直し、検討していく必要がある。